

～職場実習から就労へ～ 病院からのレポート

## ならチャレンジド総会 記念講演の感想

・2017年6月3日(土) ・奈良県社会福祉総合センター

【講師】市立奈良病院 副看護部長 畠田 和久 氏  
看護補助員 A さん (県立奈良東養護学校卒)  
国保中央病院 看護部長 東岡 美津子 氏  
看護補助員 B さん (県立高等養護学校卒)



市立奈良病院、国保中央病院、ともに生徒を励ましの中で指導され、非常に嬉しく思います。二人の卒業生も働くことで社会人として生き生きと、しっかりされ頼もしいです。これから、まだまだ、苦難もあるでしょうが、職場の先輩とともに乗り越え、自分の人生を楽しんで欲しいです。

話がわかりやすかった。ありがとうございました。

障害のあるなしではなく、社会で自分の持てる力を発揮できる場があること、当たり前で働ける、安心して働ける環境であること、本当に素晴らしい事だと思います。自ら選ばれた職場で自信や誇りを持ち、まわりの方への感謝の気持ちも持ちながら働けていること、ステキだと思います。頑張っておられる姿に力をいただきました。ありがとうございました。

インタビューは聞く方も本人達にとっても明日につながる事なので、つづけてほしいです。

Aくん、Bさん、今日はお仕事についてお話してくださり、ありがとうございました。高等養護学校3年生の母親です。12日から実習が決まっています。本人に合う仕事なのか、会社の方から必要とされる人材になれるのか、不安でいっぱいですが、お二人の頑張りをしり、一歩ずつ実習を重ねていくしかないなあ…と思いました。言葉づかい、時間を守る、感謝の気持ちを表わす(ありがとう)、この3つを息子にしっかり伝えたいと思います。

今、3年生で就職に向けて動きだしたばかりで、大変参考になりました。本人を信用して、あたたかく見守っていきたく思いました。  
笑顔を忘れず、少しずつ階段を上って行って下さい。今日はありがとうございました。

病院の方が本人たちの特性をよくとらえて、また、本人たちが働きやすいように課題を設けられてよりよくしていこうとされている気持ちが伝わり、うれしく思います。  
障害者雇用しなければならないという義務感で雇用されたのではないとわかりました。

子どもを受け入れる病院の気持ち、苦労した点、工夫された点がよく理解できました。とにかく、子どもを育てるという視点で一致していることが素晴らしいと思いました。

就職先の方が彼ら彼女らの働きやすいように体制を整え、かつ、新しい仕事ができるようにと考えて下さると聞き、大変嬉しく思いました。  
病院という場所から衛生面、体調面に気をつけるとういう事、障害のあるなしに大事な事です。  
病院に務める方々が患者さんに対し笑顔で接してくれる事で病が薄れていく気がします。

病院での仕事についてプロセスが良くわかった。本人たちの話が特によかった。

病院側の受け入れ体制もしっかりされているのを話を聞きながら感じる事ができた。障害者雇用も徐々に広がりつつあると思った。  
講演される2人が働く目標を持ちながら、自信をもって働いていることがよくうかがえた。

在学時から目標をもって、ていねいに取り組んでこられた様子が良く分かりました。  
働く本人も受け入れる職場も、周りで支える支援者のみなさんも永く働き続けられることを願ってがんばっておられることが、素晴らしいと思いました。

卒業生のお二人の一生懸命仕事に向う気持ちが伝わってきてよかったです。  
病院のみなさんが生徒の受け入れに対して、ていねいにとりくまれていることをありがたいと思いました。

本日は弟の付き添いで参加させていただきました。貴重なお話ありがとうございました。  
私は今、県内の小学校で特別支援学級の担任をしています。目の前にいる子どもにどのように力をつけさせればよいのか、日々、手さぐりでやっていますが、今日の卒業生のお二人の話を聞き、とても希望がもてました。東岡さんがお話されていたように、ゆっくり、あせらず、ほめながら育てていければと思います。